

区分	評価指標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	対前年度比	図書館運営全体				
図書館運営	基本的サービス					自己評価	外部評価			
	資料購入費:決算数値(千円)	13,684	12,570	11,889	94.58%	図書館全体で図書購入費が削減傾向にある中、出版目録、リクエスト、書評、他館の所蔵状況等勘案し、出来るだけ个性的かつ効果的な選書を心がけている。新刊本コーナーの本が土・日で空になるような光景はうれしい。図書館に来ていただき、本に触れていただき、借りて行かれる…、が理想の図書館象ですが。 貸出冊数の拡大についても努力する必要があり、ブックバス廃止の影響を克服しきれていない現状である。 潜在読者層の掘り起こし等工夫の余地はありそうである。	1 大変評価する。25% 2 ある程度評価する。75% 3 評価できない。1%	・図書館は貸出冊数で評価されているものか。 ・館内でゆっくり本を読むことのできる雰囲気も大切。 ・リクエストで本が借りられ、ありがたい。 ・ブックバス廃止の影響もある。 ・高齢者の増加に対応する施策を。		
	蔵書冊数(冊)	189,296	183,202	173,308	94.60%					
	貸出冊数(点)	216,832	214,072	199,283	93.09%					
	登録者数(人)	9,470	10,191	10,723	105.22%					
(内新規登録者数)	811	785	575	73.25%						
区分	評価指標	平成23年度	平成24年度	H25目標値	理由	平成25年度	評点	評価(次年度への展開)		
施策・事業	課題解決型図書館					自己評価	外部評価			
	レファレンス件数(件)	477	430	500	微増	323	1	レファレンスについて微増傾向にあったので目標も微増させたが、減に転じてしまった。押し売りはできないが、レファレンス環境(掲示・スペース)整備等に努めたい。 予約も…順調に増加していたが、目標の微増にとどまった。楽観視せず、便利さをもっとPRして行きたい。	1 大変評価する。12.5% 2 ある程度評価する。87.5% 3 評価できない。1%	・スマホの普及により、図書館で聞くより簡単に恥ずかしくない。 ・レファレンスはまだ周知されていないと思う。 ・予約ができ、安心感を持って次に続く。 ・25年度目標値が高すぎたのではないか。
	個人予約件数(件)	19,652	20,074	21,000	増加見込	21,405	4			
	ビジネス支援サービス相談受付件数(件)	—	—	—						
	ホームページアクセス件数(件)	—	—	—						
	分権型図書館					自己評価	外部評価			
	郷土・行政資料の蔵書冊数(冊)	6,422	6,589	6,600	微増	6,812	4	郷土、行政資料については広く情報を求め、出来る限り入手する努力を行っている。今後、それら新しい資料を含め、利用者の目に止まり易いような工夫も凝らして行きたい。	1 大変評価する。25% 2 ある程度評価する。75% 3 評価できない。1%	・災害に関する本を増やしてほしい。 ・利用者の目に留まる工夫を。 ・求めた本があると再度行きたくなる。 ・利用者が見たり読みたくなる工夫をして。
	郷土・行政資料の貸出冊数(冊)	1,100	1,189	1,200	閲覧は確保	1,229	3			
	学・社・民融合型図書館					自己評価	外部評価			
	児童書の貸出冊数(冊)	72,890	70,131	70,000	努力して現状	52,745	1	児童書・小中学生への貸出冊数ともに目標値に届かなかった。特に児童書には力を入れて来ただけに、減少はショックである。ブックスタート、学校図書館の充実等の効果はまだ見えてこない、少子化のあおりか？ 「ぷれジョブ」等受入依頼については出来る限り対応しており、今後もその方針でいきたい。	1 大変評価する。37.5% 2 ある程度評価する。62.5% 3 評価できない。1%	・派遣については、職員減の中でよく頑張っている。 ・児童生徒が図書館に足を運びたいような工夫を。 ・探しやすく見やすい並べ方を考えてほしい。 ・学校図書館の充実も影響していると思う。 ・絵本などは母親に対するPRをもっと考えて。 ・ブックバス廃止の影響か。
	小中学生への貸出冊数(冊)	29,505	27,788	28,000	〃	27,000	2			
	子ども・親子対象事業の参加者数(人)	1,655	1,614	1,500	〃	1,377	2			
	職場体験受入人数(人)	43	21	30	努力	30	3			
	講師等としての派遣職員数(人)	90	122	80	職員減	105	4			
	パートナーシップ型図書館					自己評価	外部評価			
	図書館事業のボランティア活動者数(人)	207	247	200	現状維持か	248	4	ボランティア活動者数の増加は、念願だった「図書館まつり」が軌道に乗ったことも増加要因と思われる。ただ、事業、交流会等に参加して下さるボランティアさん方も固定化の傾向にあり、ご負担が増しているようにも見受けられる。新規加入についての有効な手立てが求められる。 共催事業については、応援団である「友の会」との共催事業である読書会は、25年4月で150回を迎えている。	1 大変評価する。75% 2 ある程度評価する。25% 3 評価できない。1%	・絵本の原画展や作家の講演会などやったほうがいい。 ・ボランティア活動の拠点である図書館の事業が活発になることは大変良い。 ・長年の実績で一体感を感じる。 ・図書館にとってボランティアや地域民は、なくてはならない存在。 ・今後も充実させてほしい。
	ボランティア団体交流会参加者数(人)	50	16	20	努力して開催	20	3			
	共催事業の実施回数(回)	95人	14	14	現状維持か	14	3			
	運営(職員)					自己評価	外部評価			
研修参加職員数(人)	48	34	35	職員減	40	4	目標値を上回ったが、職員減等で職場に余裕がなくなってきたが、既に受講した研修等については「職場・仕事優先」という意識が自己防衛的に働いてしまうのでは。(研修に行った分、仕事が残る) 区の独自研修等には転入・新規職員を優先的に送り出しており、若干でも増は職員意識の向上と考える。	1 大変評価する。62.5% 2 ある程度評価する。25% 3 評価できない。12.5%	・仕事が楽しく、研修に行ってよかったという満足感があってほしい。 ・研修は欠かせないので、今後も努力を。	

※施策・事業の評点は1:目標値を大きく下回った 2:目標値を少し下回った 3:目標どおり達成 4:目標値を上回って達成  
 ※教育ビジョン:市教育委員会が策定した指針、組織目標:新潟市が実施している組織ごとの行政評価